

# 2024.3 vol.19

特集  
パパ育休をとって見た  
四季を彩る

クローズアップ  
ゆうあい  
誰もが自分らしく  
安心して暮らせる  
温もりのある地域社会を目指して



社会福祉法人加島友愛会

<http://www.kashima-yuai.or.jp>



## 地域で暮らす大切さを 今一度かんがえる 地域の中での施設の役割とは

アンダンテ加島施設長  
杉本昌志

国内全体の障害者数は年々増加傾向にあり、厚生労働省の資料(令和2年版厚生労働白書)では、身体障害者436万人、知的障害者109万4千人、精神障害者419万3千人となっています。合わせて障害福祉サービスの利用率も増加し、福祉ニーズの多様化が求められる昨今、障害福祉をとりまく状況下において、地域の中で障害者支援施設はどのような役割を担っていくべきでしょうか。開所した2001年からアンダンテ加島で利用者の方への支援にあたり、あらためて入所施設の役割の再認識、そこで従事するものとしての意識の変革が求められているのではないかと感じます。2024年度の報酬改定に向けた検討の中で、利用者の方に対しての生活の場、地域移行の意向確認が記されています。障害のある方が当たり前のように「地域で暮らす」、地域の中の方々と共生する、そういった社会になることを願ってやみません。

施設から地域へ、実際は様々な側面においてハードルやギャップを感じ

ることが多くあります。利用する側からみた場合、重度の障害をお持ちの利用者の方にとって、「地域で暮らす」ということに対する情報が捉えにくかったり、これまでの生活経験の乏しさからイメージを持ちにくい、また環境変化による不安が大きいといった点があります。生活の場に対する意向確認を進めるには、まず見学や体験といった実体験を通す必要があります。誰もが初めての場所での生活は緊張し、大きな不安を持ちます。利用者の方が安心できるサポート体制のもと、地域での暮らしを経験することで具体的なイメージを持つことができ、それを繰り返すことで自身の生活の場を考える選択肢が生まれます。見学や体験には、環境や人的な資源が伴いますが、そういった取り組みを進めるうえで、適切な意思決定支援を経て意思確認をしなければなりません。

また、障害者支援施設を利用する方は、重度の障害のある方で、年齢層の高齢化も年々深刻となっています。そういった方にとって地域で安心して

生活を送ることができるようにするためには、強度行動障害や医療的ケアが必要な方に配慮できる人員体制やサービス提供体制、医療との連携、刺激を軽減できるような環境、幅広い年齢層に応じたバリアフリーの環境等が必要となります。社会資源の面からみても、適応できる環境が不足しており、地域移行阻害の要因の一つとして考えられます。安定した生活を送るためには、地域、医療、関係機関等の連携強化が重要であり、24時間稼働している施設の機能性を活かした地域生活のバックアップということも、地域の中の施設としての一つの役割なのかもしれません。緊急時の受け入れや、障害のある方の生活相談窓口として、地域で求められる役割を追求することで、障害のある方が地域で安心して生活を送れるように取り組んでまいります。



加島のあかりちゃん



## パパ育休をとってみた 産後パパ育休(出生時育児休業)制度

かしま障害者センター むつみ主任  
北川将大

2022年12月に第2子が誕生した際、初めて育児休業を取得しました。そういった制度があることは知っていたのですが、当初、育児休業を申請するつもりはありませんでした。

その後、法人から育児休業の説明や勧めもあって、取得させていただきました。

自分自身の準備不足もあって、育児休業前日まで他の職員への引継ぎなどでバタバタし、迷惑をおかけしてしまった記憶があります。しかしながら、周りの職員の方の協力もあり、私が育休を取っている間も職場は大きく混乱することはなかったようです。それでも職場の様子が気になり、育休中も何度か足を運んでしまいました(笑)。

おかげさまで、出産に立ち会うことが出来ました。そして、いざ抱っこをしてみると何とも言い難い感情が芽生えるのを感じました。こんな感情を味わえるのも、早く育休を取得させてくれた周囲の協力があったからこそだと、あらためて感謝しています。

出産後は、妻が入院していたので、当時3歳の上の子と2人での生活が始まりました。慣れない事が多く、

家事や育児などとても大変で、改めて妻のありがたさを実感しました。それでも、自分なりに掃除や洗濯などの家事に取り組み、妻からは、「少しは成長したね」と言われました。

取得した期間は1カ月だったので、その間に上の子の冬季スイミングに付き添ったり、動物園に行ったりと楽しい時間をたくさん作ることが出来ました。今では、もう少し長い期間にしておけば良かったと思っています(笑)。

私にとって、育休を取得して得られた大きなメリットは、子どもと向き合えたことです。どうしても妻が下の子に付きっきりになってしまうので、その分長女には、私が寄り添いました。時には、長女から、「妹の方が可愛いんでしょ」と嫉妬のような言葉もありましたが、長女との2人きりの時間が多く取れて、成長に関して新しい発見ができて感動しましたし、長女との親密さも深まったと思います。

育児休暇中は、育児休業給付金を受給し、「給料の67%×日数」の手当がありました。また、社会保険料も免除されるので安心して暮らすことが出来ました。

加島友愛会では、男性の育児休業は私が初めてとの事だったので、他の男性職員にも機会があれば、積極的に取得を考えてほしいです。自分から「育休を取りたい」となかなか言えない人も多くいると思いますが、加島友愛会では法人から積極的に取得を勧められます。取得するしないを自分で考えることが出来るのはありがたいですね。



北川将大

(きたがわしょうた)  
かしま障害者センターむつみ主任。  
2005年入職。長女が5歳で次女が1歳になりました。  
趣味はスノーボードとプロレス観戦。



お花見



鯉のぼりケーキ

# SPRING 春

2019年から新型コロナウイルスの影響が続く中、2023年は感染拡大という試練に立ち向かいながらのスタートでした。5月には感染症法上の位置づけが5類へと移行し、私たちは新たな希望を抱き、コロナ前を目指すことになりました。様々な制約や課題に直面しながらも、利用者の皆様と共に歩み、多くの方のご協力を得て四季を彩るイベントに参加できたことに心から感謝申し上げます。春の清新な風に吹かれながらのお花見、夏の楽しいバーベキューやお祭り…猛暑でしたが(^)、秋晴れの散策、冬の温かな交流会、そして2024年——その一瞬一瞬が、私たちの心に温かな思い出を刻んでくれました。ここでは、四季折々の「輝き」を紹介させていただきます。新型コロナウイルス感染症は収束に向かいつつあるものの、しばらくは共存せざるを得ない日々が続きます。



喫茶活動



運営懇談会



花火



水やり



BBQ



水遊び



足水

# 夏 SUMMER



夏祭り



大相撲観戦



秋祭り



クリスマス会



初詣



初詣



喫茶活動



クリスマス会



書初め



ハロウィン

# 秋 AUTUMN



運動会



クリスマス会

# 冬 WINTER

私たちは「それでも」と言い続けながら、  
これからも皆様と共に歩み、新たな季節を楽しんで、  
笑顔と希望に満ちた日々を過ごしていけることを  
心より願っています。



敬老会



クリスマス会



ハロウィン

誰もが自分らしく安心して暮らせる温もりのある地域社会を目指して



# 社会福祉法人 加島友愛会

〒532-0031  
大阪市淀川区加島1丁目60-36  
TEL.06-6101-6601 FAX.06-6308-7299  
e-mail 1991@kashima-yuai.or.jp  
URL http://www.kashima-yuai.or.jp

ホームページは  
こちら!



加島のあかりちゃん

## ① かしま障害者センター

〒532-0031 大阪市淀川区加島1丁目60-36  
TEL.06-6308-7206 FAX.06-6308-7299



むつみ (生活介護事業・就労継続支援事業 B 型)

e-mail mutsumi@kashima-yuai.or.jp

ヘルパーステーション トレフル (障害部門)

e-mail trefle@kashima-yuai.or.jp

地域生活支援部 (障害者グループホーム)

e-mail kashima-chiikiseikatu@kashima-yuai.or.jp

- 加島苑●セッション●チューリップ●あさがお
- カナリヤ●うぐいす●ひのき●トレフル

Link

(就労移行・就労継続支援事業 B 型・自立訓練・就労定着支援)

TEL.06-6308-7210 FAX.06-6308-7220

e-mail link@kashima-yuai.or.jp

障害者就労支援事業部

TEL.06-4805-2485 FAX.06-6308-7220

e-mail kashima\_jc@kashima-yuai.or.jp

“COCOLO” 相談支援センター

(地域活動支援センター (生活支援型)・特定相談支援事業・一般相談支援事業)

TEL.06-6308-7209 FAX.06-6308-7220

e-mail cocolo@kashima-yuai.or.jp

## ② ル・プラス (就労継続支援事業 A 型)

〒561-0843 大阪府豊中市上津島1丁目4-3  
TEL.06-6151-3701 FAX.06-6151-3810

e-mail re.plus@kashima-yuai.or.jp



## ③ 加寿苑 特別養護老人ホーム

- 特別養護老人ホーム●ショートステイ●診療所
- デイサービスセンター

〒532-0031 大阪市淀川区加島1丁目34-8  
TEL.06-6305-0711 FAX.06-6305-0773

e-mail kajuen@kashima-yuai.or.jp

ホームヘルプセンター 加寿苑 (高齢部門)

TEL.06-6306-6205 FAX.06-6305-0773

淀川区西部地域包括支援センター

TEL.06-6305-0737 FAX.06-6305-0738

e-mail yodogawa-seibu@kashima-yuai.or.jp



## ④ アンダンテ加島 (施設入所支援・生活介護事業)

〒532-0031 大阪市淀川区加島1丁目36-46  
TEL.06-4806-6780 FAX.06-4806-6781

e-mail andante@kashima-yuai.or.jp



## ⑤ 加島希望の家 (生活介護事業)

〒532-0031 大阪市淀川区加島1丁目49-21  
TEL.06-6390-5666 FAX.06-6302-2551

e-mail kibou@kashima-yuai.or.jp



## ⑥ リュミエール加島 介護付有料老人ホーム

〒532-0031 大阪市淀川区加島4丁目16-35  
TEL.06-6308-7788 FAX.06-6308-7799

☎0120-087-322

e-mail lumiere@kashima-yuai.or.jp

リュミエールミント 機能訓練特化型デイサービス

TEL.06-6308-7797 FAX.06-6308-7799

e-mail lumieremint@kashima-yuai.or.jp



体験利用  
受付中

## ⑦ リベルテ加島 介護付有料老人ホーム

〒532-0031 大阪市淀川区加島1丁目38-20  
TEL.06-6305-5750 FAX.06-6305-5756

☎0120-991-707

e-mail liberte@kashima-yuai.or.jp



表紙の写真  
大豊橋より

企画 法人機関誌検討委員会

市村賢一、西岡剛、篠原卓也、十倉伸二、  
山下修一、北村智之、森本香奈枝、北川将大、  
木山雅子

デザイン 桐田博子

印刷 (財)浪速振興会

